

## 第 52 回 地域協議会（地域医療支援委員会）議事概要

【日 時】平成 31 年 3 月 18 日（月） 19：30～20：30

【場 所】人吉医療センター3階 講堂

【出席者】岐部 明廣（人吉市医師会会長）  
山田 和彦（人吉市医師会副会長）  
犬童 裕成（球磨郡医師会理事）  
近藤 浩之（球磨郡医師会副会長）  
清水 雅英（人吉市歯科医師会理事）  
山村 礼二（球磨郡歯科医師会理事）  
河内 謙介（西諸医師会理事）  
村田 圭介（人吉球磨薬剤師会会長）  
緒方 敬子（熊本県人吉保健所）  
告吉 眞二郎（人吉市健康福祉部部長）  
原田 和紀（えびの市健康保険課課長）  
有菌 良介（伊佐市総務課課長）  
大瀬 敏克（利用者、学識経験者）  
末次 美代（学識経験者）  
木村 正美（人吉医療センター院長）  
下川 恭弘（人吉医療センター副院長）  
大竹 秀幸（人吉医療センター副院長）  
石神 哲郎（人吉医療センター歯科口腔外科センター長）  
入部 直子（人吉医療センター看護部部長）  
作元 功（人吉医療センター事務部部長）  
西山 三智（人吉医療センター総務企画課課長）  
黒木 美佐（人吉医療センター総務企画課係長）  
山田 一裕（人吉医療センター医療福祉連携室）  
小田 薫子（人吉医療センター医療福祉連携室）

【欠席者】水間 良裕（伊佐市医師会副会長）

（敬称略 出席 計 24 名）

### 【概 要】

一、開会（事務局）

二、議長挨拶

三、議題（議長）

1. 要望・ご意見（人吉市、えびの市、伊佐市、学市区経験者・利用者）

<人吉市>

・告吉議員

※情報提供（スライド使用）：国保特定検診におけるかかりつけ医の検査データ提供について

国保の特定検診について、本市の受診率が 42.1%（H29）と徐々に上昇しているものの、国が掲げる目標値 60%を達成できていない現状にあることから、受診率向上の一環として人吉市医師会様のご理解とご協力のもと、平成 31 年度から取り組むものである。

これは、特定健診未受診者の多くが、持病治療のためすでに通院中であることから、かかりつけ医療機関にある検査データを活用し、特定健診受診として受診率に反映させる。

方法として、被保険者本人の同意を得た上でかかりつけ医療機関にあるデータを市町村に提出してもらい、そのデータを基に市町村は対象の被保険者の特定健診が完了したものとみなす。

なお、かかりつけ医療機関にある検査項目が特定健診の検査項目に満たない場合には、不足分の追

加検査を行ってもらい、全検査項目分のデータを市町村に提出いただく。

**\*経費について**

市町村は医療機関に情報提供料として文書料 2,000 円/1 件、追加項目検査料一律 1,500 円/1 件（追加項目数の多少は問わない）を支払う。（対象者の自己負担はなし）

**\*実施予定市町村**

人吉市、錦町、相良村、山江村、球磨村

**<えびの市>**

・原田議員

人吉医療センターでは、吉田病院のソーシャルワーカーなども参加しての検討会議を開催されていると聞いている。

昨今の事例で、未熟児出生やハイリスク妊産婦において特に精神的な疾患のある産婦について人吉医療センターと書面（連絡票）により連携をとらせていただいた。

今後、該当するケースがあった場合には、検討会議に当市の保健師を参加させて頂きたい。多職種との連携を図ることで、よりきめ細やかな対応ができればと思う。

→特定妊婦、未熟児に関して行政へ連携をとらせて頂くケースは年々増加しており、当院でも熊本、宮崎、鹿児島 の 3 県のみならず里帰り出産の方においては遠方の行政機関とも連携をとらせて頂いている。

ケース検討会議については、妊娠中だけではなく、産後育児サポートの必要なケースもあり、小児科も含め、H30 年度はケース会議が必要と判断されたケースに関し 4 回ほど開催している。

また、今年度より「ハイリスク妊産婦連携指導料 1」が診療報酬にも新設され、吉田病院の中にも母子サポート体制を整備いただき、精神科受診歴のある妊産婦へのサポートがより充実するのではないかと考えている。

特定妊産婦、未熟児も増加傾向にあるため、きめ細やかなサポートを効率よく提供するため、急ぐケースは電話連絡、それ以外は詳細な情報を書面（連絡票）でやり取りを行い、必要時にケース検討会議を開催していきたいと考えている。

**<伊佐市>**

・有菌議員

救急患者の受け入れについて H27 年は 200 名程救急患者を受けていただいていた。現在はその人数を超えた数の患者を受けてもらっており、伊佐市民の安心・安全に繋がっていると考えている。今後とも宜しくお願いします。

**<学識経験者・利用者>**

・末次議員

小児発達外来は今後も是非継続して頂きたい。

学校に関わる者の一人として、医師会、歯科医師会、薬剤師会の皆様には大変お世話になり感謝している。

→小児発達外来について 3/12 に最終打ち合わせが行われ、今後も小児発達外来は継続を行っていく予定である。診療日は第 2 火曜日。

発達相談外来事業担当が熊本大学病院から、市町村が持ち回りで小児発達外来に関わる事務を担当し、来年度は錦町が担当となる。

## 2. 入退職医師（事務局）

H31年3月31日付けで退職者の紹介とH31年4月1日付けで赴任してくる医師の紹介を行った。

## 3. 議員交代について（事務局）

現在議員の任期満了に伴い、議員交代のため各団体から議員の選出をお願いしたい。議員の任期は、平成31年4月1日から平成33年3月31日までの2年間で、任期内の議員交代については当院まで連絡を行って頂く事とする。

→全会一致で承認となった。

## 4. その他

### ・大竹議員

現在、当院は輸血の備蓄医療機関として、開業医より緊急輸血が必要な際に熊本赤十字病院の代わりに当院が輸血を出している。しかし、熊本赤十字病院へ厚労省より薬事法に触れると指導を受けたため、これまでは30分以内に輸血を払い出ししていたが、出来なくなってしまう可能性がある。

### ・木村院長

人吉市の地域在宅医療サポートセンターを当院に設置することとなった。

### ・岐部議員

熊本メディカルネットワークを推進してほしい。

→当院でも熊本メディカルネットワークの普及を行っていきたいと考えている。JCHOのセキュリティーはとて厳しくなっており、現在も電子カルテへ直接繋ぐことが出来ていない状況である。普及には電子カルテへ繋げることは必要である。

## 五、閉会

—以上—